三菱マテリアル株式会社

経営説明会

Materials Premium 2016

～NO.1企業集団への挑戦～

2015年6月26日

常務執行役員　鈴木 康信

MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

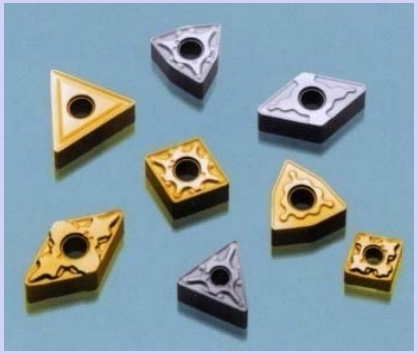
事業内容

セメント

・普通セメント
・混合セメント
・生コンクリート
・建材

金　属

・銅
(電気銅、銅加工品)
・金、銀、鉛、錫
・硫酸



加　工

・超硬工具
・焼結部品

電子材料

・機能材料
・電子デバイス製品
・多結晶シリコン

アルミ

・アルミ缶
・アルミ圧延品
及び加工品

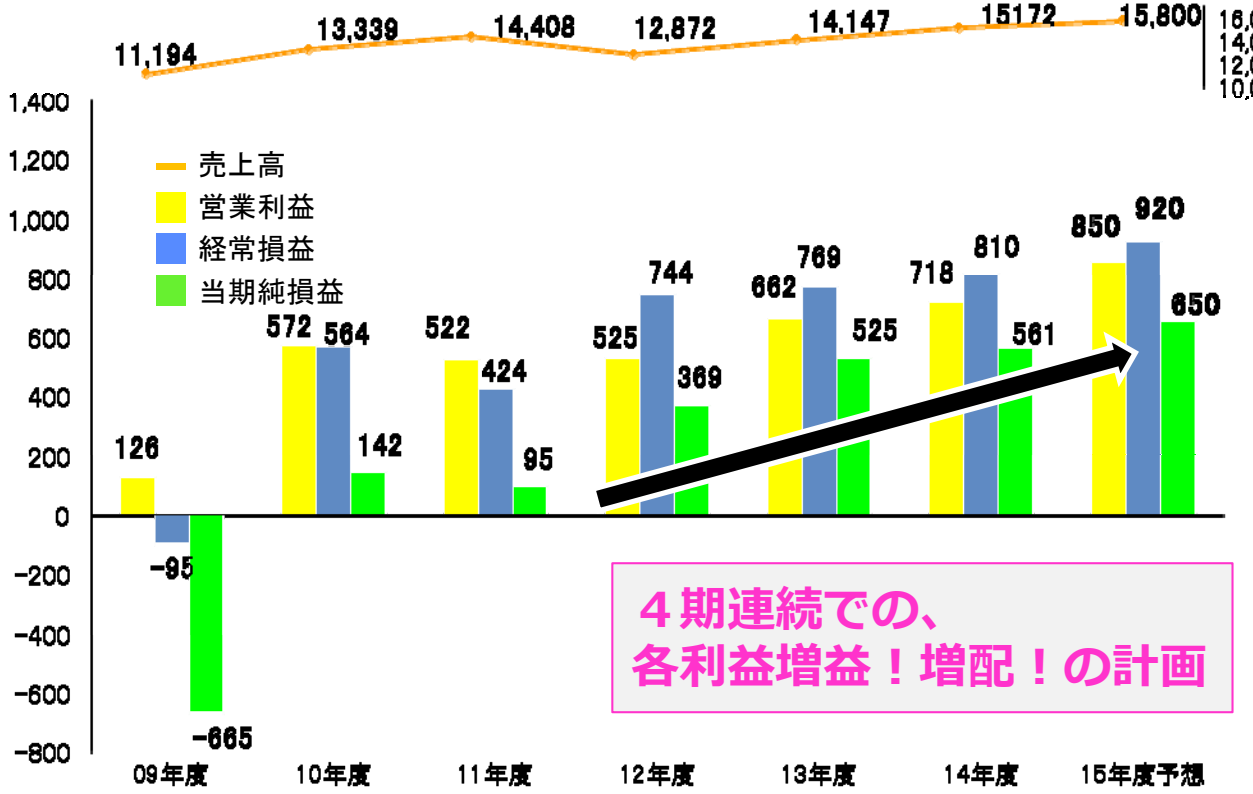
その他

・資源･リサイクル
・宝飾品
・エンジニアリング
・不動産
など

MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

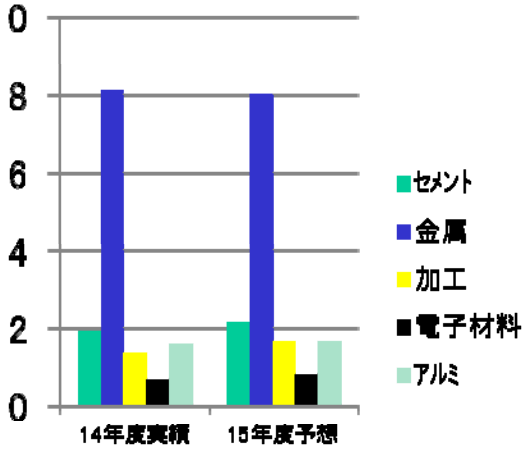
連結業績の推移

（単位：億円）

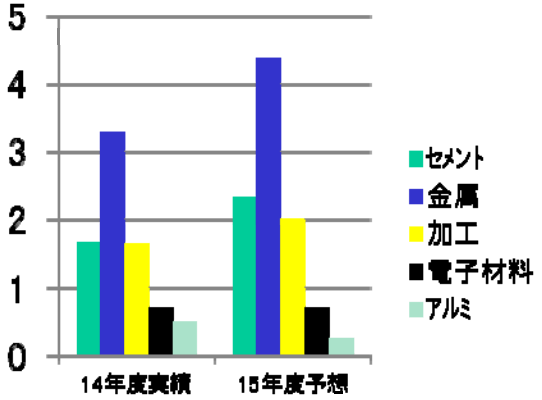


４期連続での、
各利益増益！増配！の計画

事業別売上高（単位：千億円）



事業別経常利益（単位：百億円）

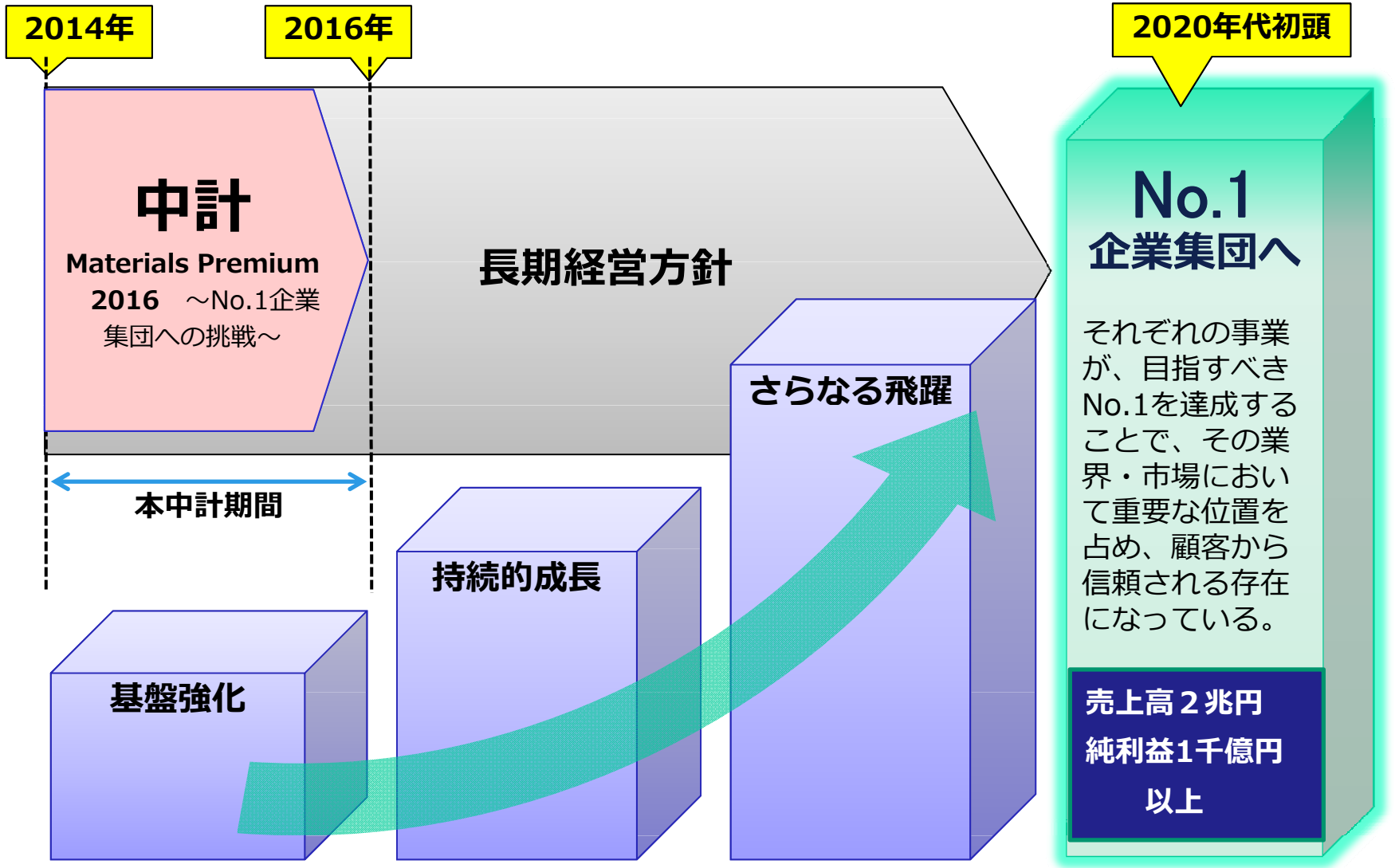


配当/株	―	2円	2円	4円	6円	8円	10円
ROA	-0.5%	3．1%	2．4%	4．2%	4．3%	4．4%	4．8%
Net DEレシオ	2．1倍	2．0倍	1．8倍	1．6倍	1．3倍	1．0倍	0．9倍

財務格付(JCR)　「A－」に格上げ！

MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

中期経営計画の位置付け



2016年度への展望（中期経営計画）

Materials Premium 2016
～No.1企業集団への挑戦～

経営目標

	2014年度（実績）	2015年度（予想）	2016年度（中計）
◆経常利益	810億円	920億円	1，100億円
◆ROA（総資産経常利益率）	4．4%	4．8%	6%
◆ネットDEレシオ	1．0倍	0．9倍	1．0倍以下

成長戦略

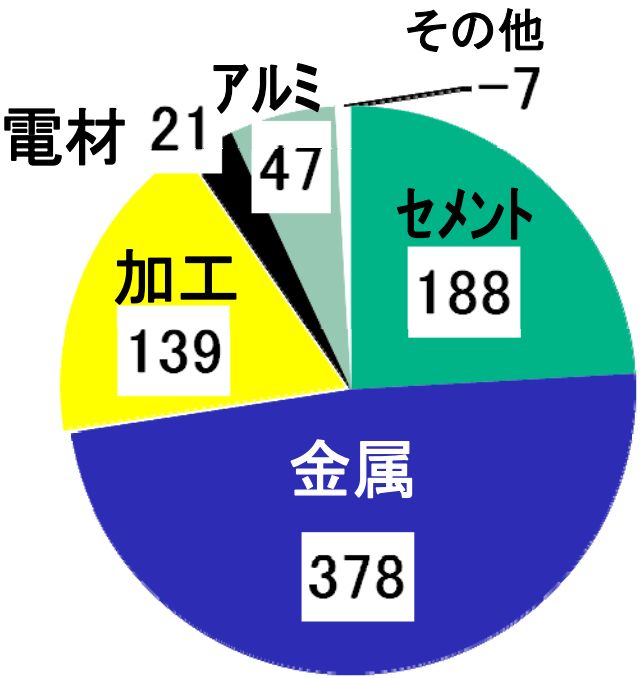
- 成長基盤の強化
- グローバル競争力の強化
- 循環型ビジネスモデルの追求

MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

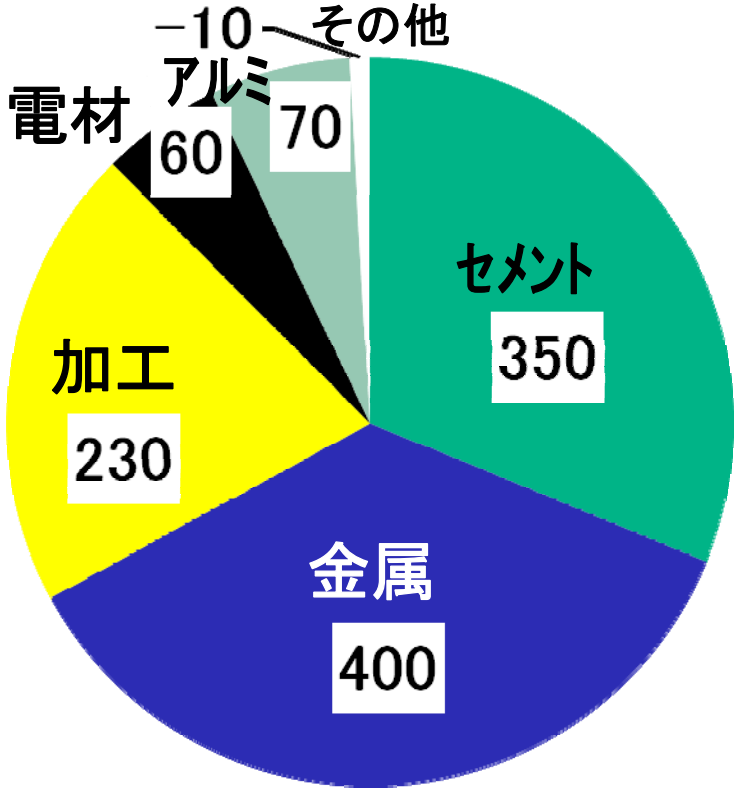
2016年度への展望（中期経営計画）

セメント事業、加工事業を中心に、大きな業績伸長を計画

13年度実績
経常利益　769億円



16年度中計
経常利益　1,100億円

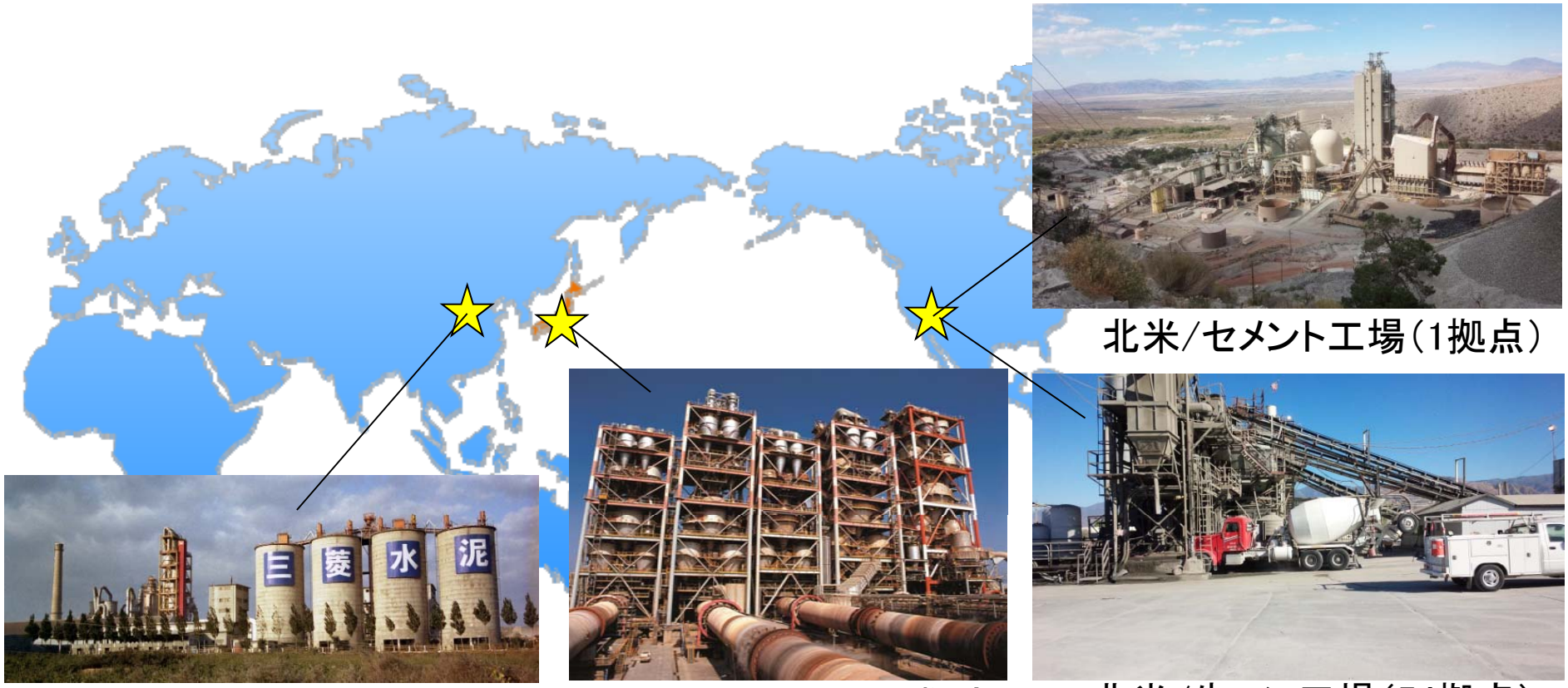


MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

セメント事業（概要）

国内事業：　販売シェア約25％　*宇部興産社との合弁販売会社の国内シェア2位

北米事業：　南カリフォルニアにおける生コントップ企業



北米/セメント工場（1拠点）

中国/セメント工場（1拠点）

国内/セメント工場（4拠点）

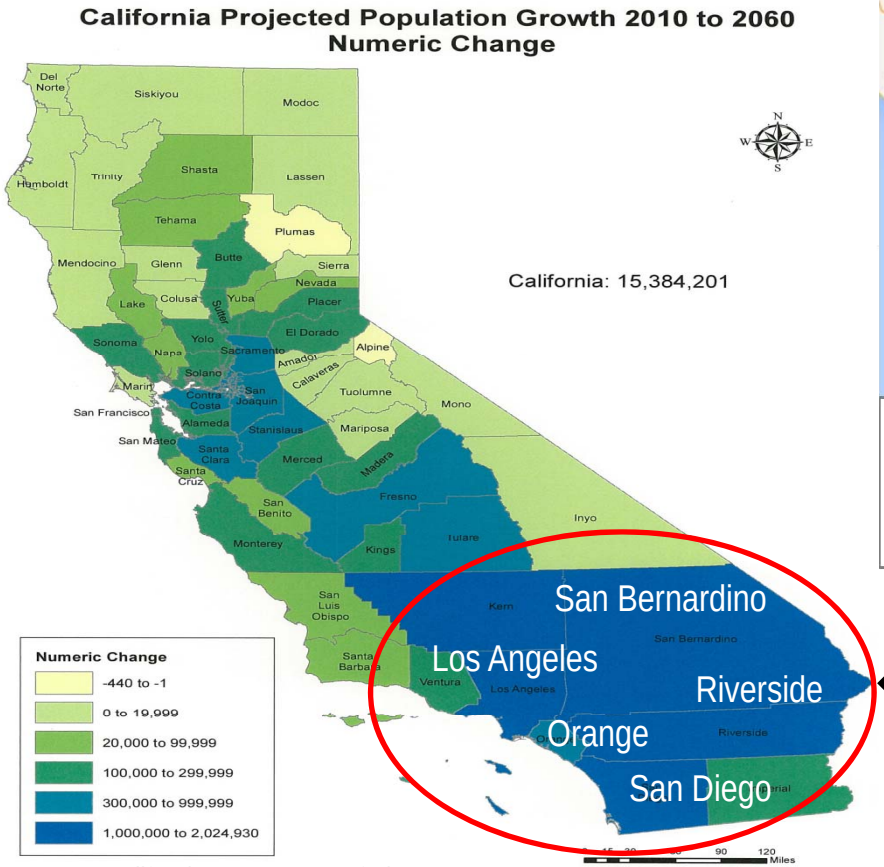
北米/生コン工場（54拠点）

セメント事業（注目ポイント）

カリフォルニアの事業環境

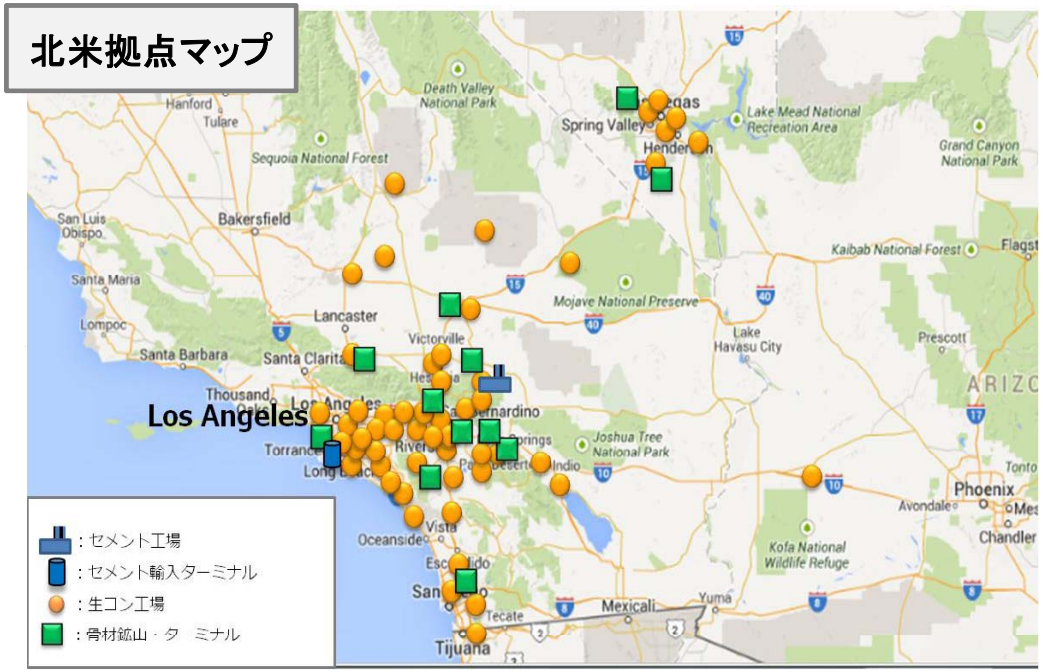
人口増加に支えられた、セメント・生コン需要の拡大

カリフォルニアにおける人口増加予測
（2010–2060年・数的変化）



Source: California Department of Finance

北米拠点マップ



人口伸び率が高い南CAにおいて
生コンで**トップシェア**

MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

金属事業（概要）

銅鉱山開発

	当社権益
エスコンディーダ鉱山(チリ)	1.25%
ロスペランブレス鉱山(チリ)	10.00%
バツヒジャウ鉱山(ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ)	1.75%
ハックルベリー鉱山(カナダ)	35.71%
カッパーマウンテン鉱山(カナダ)	25.00%

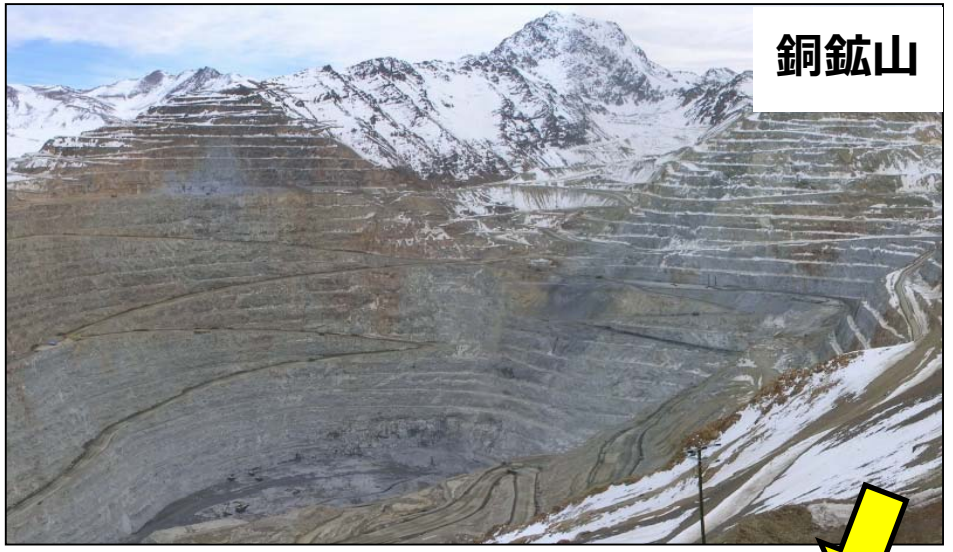
銅製錬

直島製錬所
小名浜製錬所
ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ PTS社

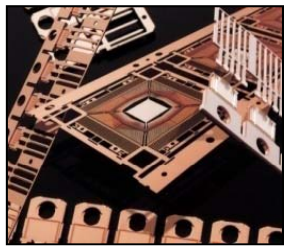
電気銅
銅スラグ、硫酸
リサイクル事業

銅加工

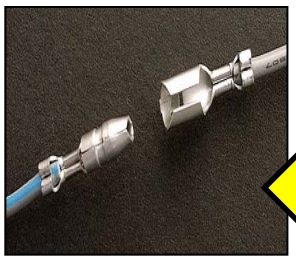
堺工場　：型銅、銅ボール
三菱伸銅：銅条、銅棒など
三菱電線：ｹｰﾌﾞﾙ、ｼｰﾙなど



型銅品（ﾋﾞﾚｯﾄ）



半導体用
リードフレーム



自動車用
端子コネクター

MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

金属事業（注目ポイント）

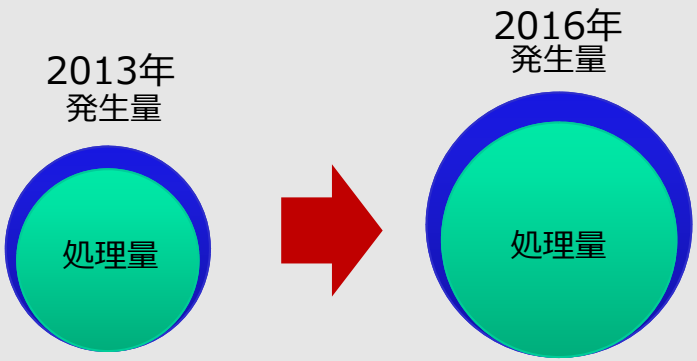
本業を通じたリサイクル事業の拡大（E-Scrap処理 世界No.1へ）

パソコンなどに含まれる廃電子基盤(E-Scrap)を世界中から集荷

前処理を施した後、銅製錬工程へ投入

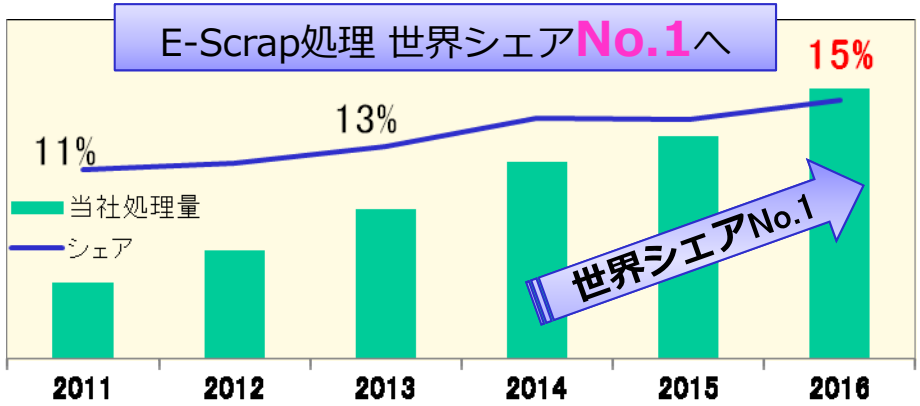
銅をはじめ、金、銀、プラチナなどの希少金属を抽出

E-Scrap市場見通し



（円の大きさは量を示します）

E-Scrap処理 世界シェアNo.1へ



加工事業（超硬製品事業 概要）

豊富な製品ラインナップを武器に、グローバルに事業展開

超硬工具業界で、国内 1 位のポジション
今後、世界シェア１０%超が目標

自動車産業

航空機産業

医療産業

⇦ 注力3分野

土木建築、鉱山、
オイル＆ガス、
鉄鋼、衛生、電機等

超硬工具
メーカー

三菱マテリアル（筑波・岐阜・明石他）
三菱日立ツール社（成田、野洲他）

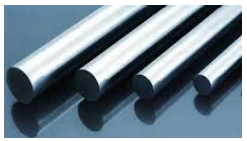
切削工具

MMCリョウテック社

建設工具

耐摩工具

超硬素材



MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

加工事業（超硬製品事業 注目ポイント）

成長が見込まれる自動車、航空機、医療をターゲット市場とし、海外販売拠点の拡充、M&A等による事業拡大を図る

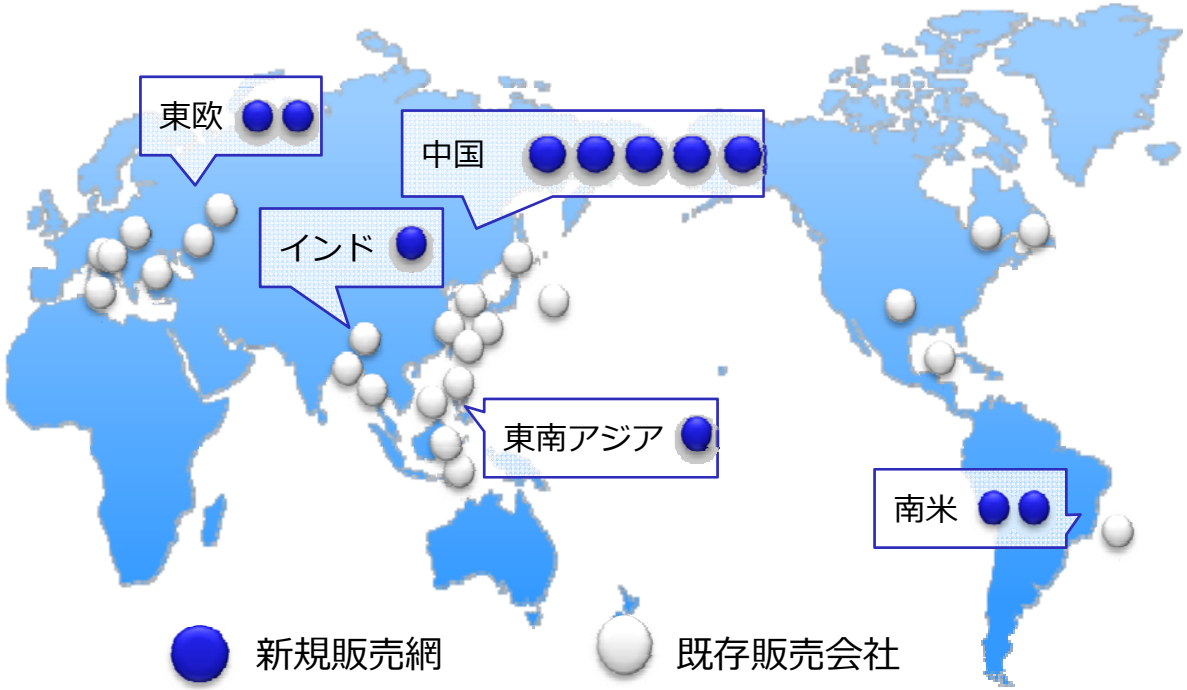
成長戦略

◆海外拠点の拡充
販売・製造拠点、テクニカルセンター

◆産業別チームによる営業力強化
自動車、航空機、医療を重点産業とし、個別攻略による成長ドライブ

◆ソリューション提供力の向上
テクニカル拠点（現5拠点）の連携強化

超硬製品販売ネットワークの拡充計画
（14-16年の3年間）



電材材料事業

注目ポイント：ユニークな製品開発を加速

事業分野

- **機能材料**　スマホ、自動車向けなど
  …精密実装材料，DBA基板、ターゲット材料、シリコン精密加工品、**フッ素製品**、熱線カット材料
- **電子デバイス**　白物家電向けなど
  …サージアブソーバ、サーミスタセンサ、チップアンテナ
- **シリコン**　半導体向けなど
  …多結晶シリコン

油水分離を可能とする　各方面から引合い殺到
世界初の「フッ素系化合物」を開発

アルミ事業

国内唯一のアルミ缶リサイクル～圧延～製缶システムを構築

三菱アルミニウム社

アルミ圧延品

缶材、自動車、印刷版向けなど

富士製作所　製造ライン

自動車押出熱交材
（世界**トップ**シェア）

日本、米国、タイ、中国に続き、15年度中にインドで生産開始

ユニバーサル製缶社

飲料用アルミ缶

通常缶、ボトル缶、スマート缶

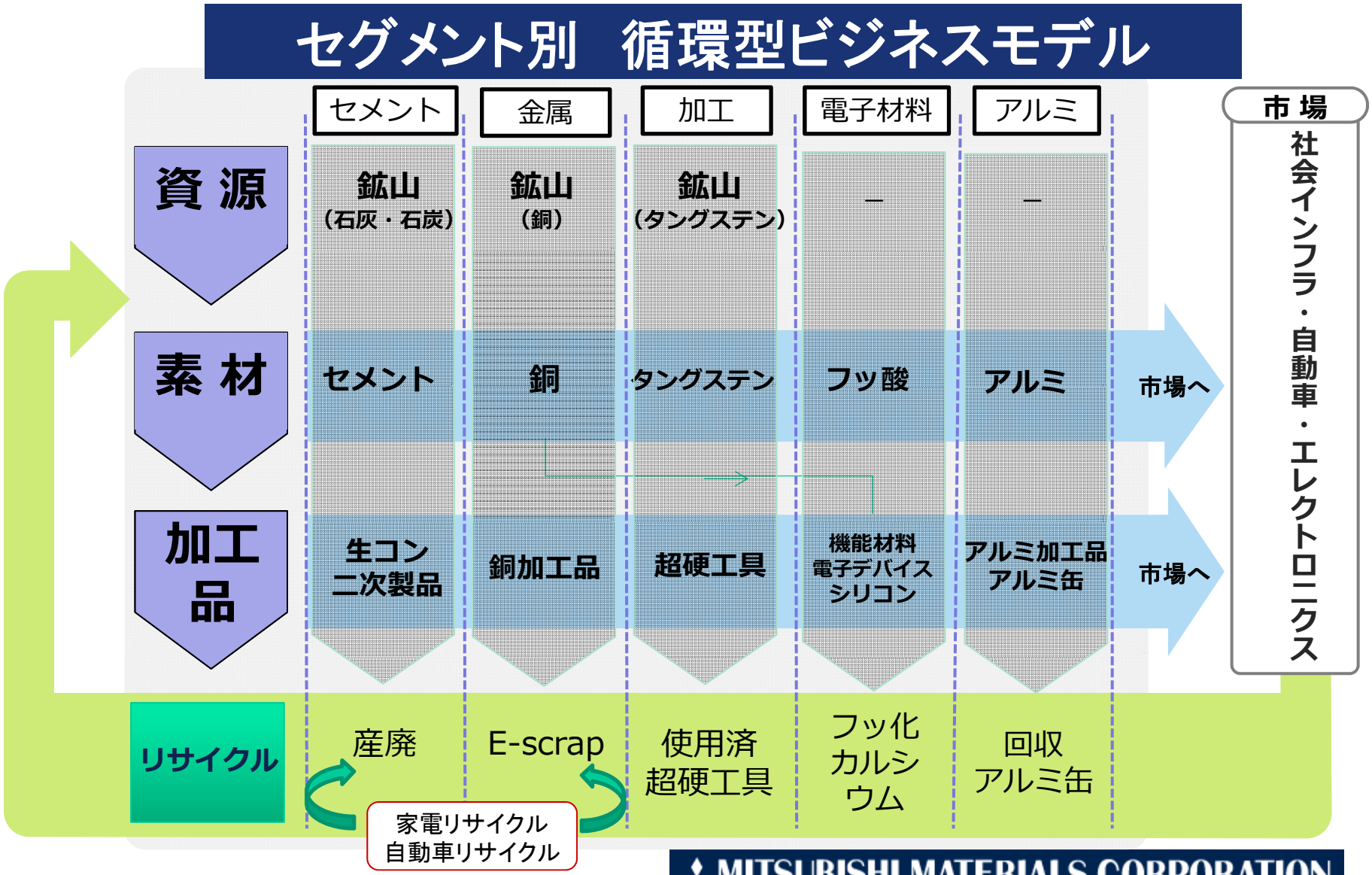
国内トップクラスシェア

Universal Can

注目

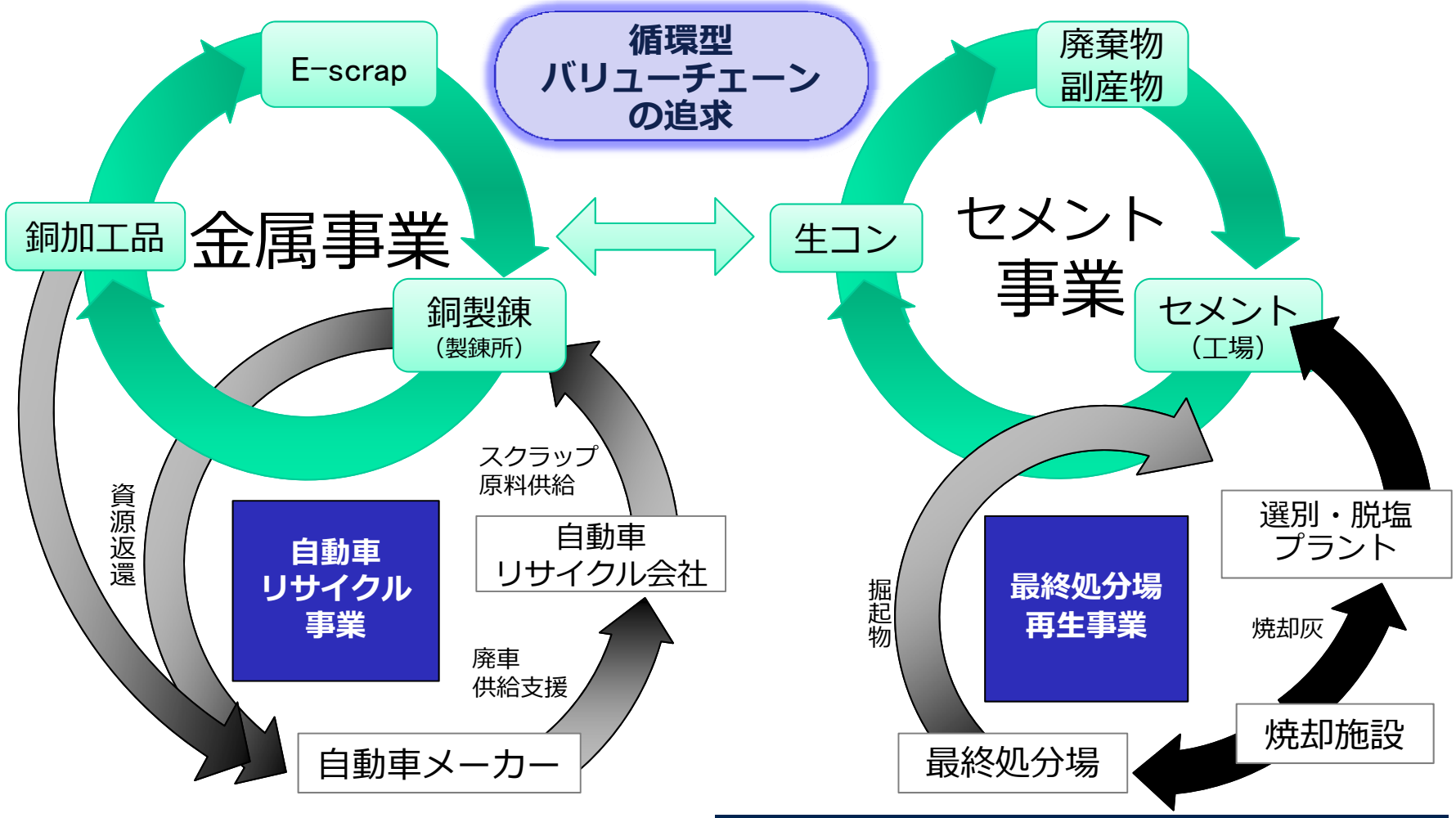
ボトル缶の更なる成長
⇒ 国内販売強化
⇒ 海外展開の検討

本業を通じたリサイクル体制



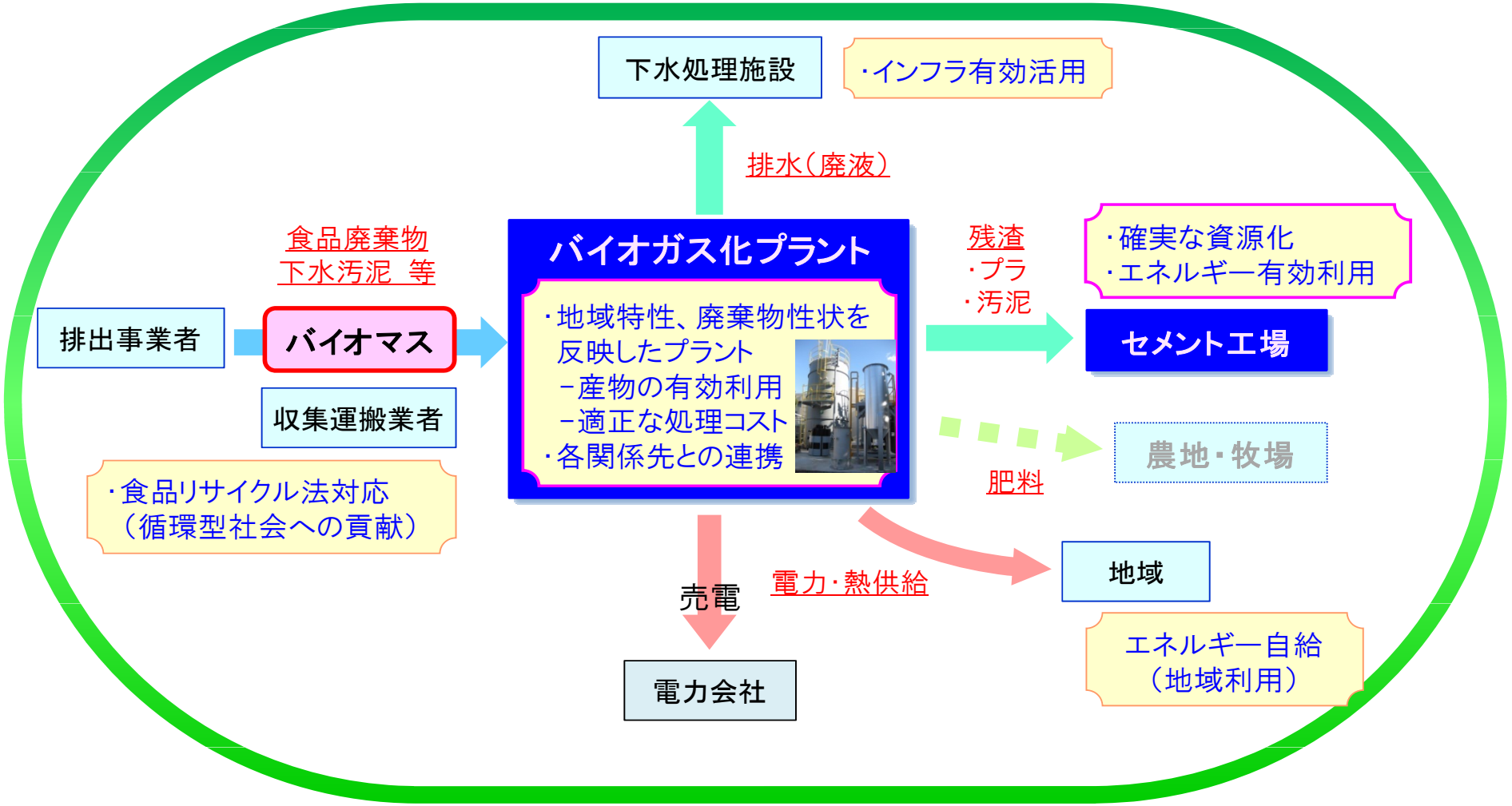
本業を通じたリサイクルの応用①

「マテリアル・プレミアム」を生かしたビジネスモデルの確立



本業を通じたリサイクルの応用②

食品系廃棄物などのバイオガス化実証試験実施



家電リサイクル事業

家電メーカー各社と共同で事業推進。日本最大の処理量

５社６工場で全国の約20%を処理、再資源化

回収
分解

再商品化
率87%

都市鉱山

金、銀、銅、アルミ、鉄
レアアース磁石など

- 北海道エコリサイクルシステムズ㈱
- 東日本リサイクルシステムズ㈱
- パナソニックエコテクノロジー関東㈱
- 中部エコテクノロジー㈱
- 関西リサイクルシステムズ㈱
- 関西リサイクルシステムズ㈱第二工場

今後、リサイクル需要の拡大が望める新興国での事業展開や発生量の拡大が見込まれるソーラーパネルなどへの展開も検討中

再生可能エネルギー

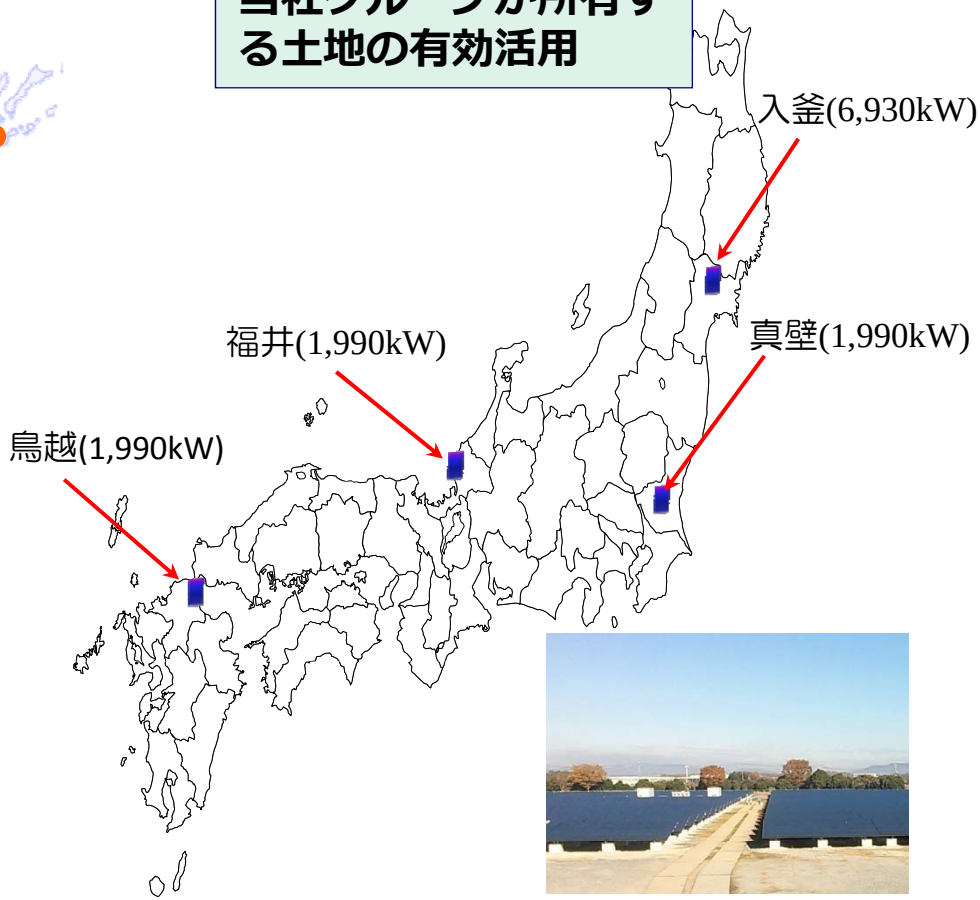
地熱・水力発電

・日本の地熱資源量は世界第３位
・発電時にCO2が排出されない

写真：澄川地熱発電所（東北電力㈱提供）

太陽光発電

当社グループが所有する土地の有効活用



再生可能エネルギー（地熱発電）

MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

入釜太陽光発電所

震災復興

震災復興への継続的な取り組み

セメント工場における災害廃棄物の受入れ・活用

※14年3月までで終了

自治体の要請に応えて東日本大震災の災害廃棄物の受け入れ、処理を実施（累計処理量　約８万８千トン）

復旧・復興工事における銅スラグの活用

銅製錬所の製錬工程での副産物「銅スラグ」を重量コンクリート用原料として防波堤港湾工事に有効活用

福島の環境修復

当社グループの技術的知見を除染業務等の福島復興事業に活用

まとめ

◆中期経営計画の着実な実行

財務体質の改善を継続するとともに、持続的成長を実現するための戦略投資を果敢に実施し、成長基盤を強化

Materials Premium 2016

～NO.1企業集団への挑戦～

私たちは、ユニークな技術により、
地球に新たなマテリアルを創造し、
循環型社会に貢献する
No.1企業集団を目指します。

人と社会と地球のために

MITSUBISHI
三菱マテリアル